

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築設計科											
建築・インテリア設計実習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	天野 奈緒			実務経験	有	職種	ハウスメーカーにて建築設計に従事				
授業概要											
建築およびインテリア設計のコンセプト、デザインを表現するためのプレゼンテーション技法を実習を通して習得します。											
到達目標											
次の 4 点を到達目標とする。①事例紹介等により都市の構成、都市施設の構造や用途を理解する。②平面、断面のスケッチをもとにスタディ模型を作成し検討することの重要性を理解する。③グループ作業の際、他者の意見に耳を傾け、積極的に意見し、アイデアを更に膨らませることができる。④図面や模型を作成し、設計案を発表することができる。											
授業方法											
講義と実習を中心に授業を進め、理解度を深める。建築設計の手法を知識と五感を使ったものづくりを原点に、実務につながる実習を展開する。団た、住宅建築など、過去に学んできた知識を発展させ、多用途な建築の設計に取り組むことで設計の仕事の流れを修得する。中間提出や発表会での教員による評価をもとに、理解の到達度を確認する。											
成績評価方法											
授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。本講義で、設計を一筆書きのように、まとめることも修得すること。											
履修上の注意											
毎回、製図道具一式、教科書、ロールトレーシングペーパー（A 3）を必ず持参すること。											
教科書教材											
第 3 版 コンパクト建築設計資料集成 丸善出版											
回数	授業計画										
第1回	都市施設のイメージチェック、都市の構成と建築の用途が理解できる。										
第2回	住宅設計における図面表現等を理解できる。										
第3回	敷地、建物用途、イメージ、モジュールをまとめることができる。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
建築設計科	
建築・インテリア設計実習 2	
第4回	平面、断面のスケッチを通して設計するものの規模を理解できる。
第5回	前回スケッチを基に図面、スタディ模型の作成ができる。
第6回	スケッチを基に図面、スタディ模型の作成ができる。
第7回	グループ内で発表を行い、新たなアイデアを見つけ出すことができる。
第8回	敷地、建物用途、イメージ、モジュールをまとめることができる。
第9回	平面、断面のスケッチを通して設計するものの規模を理解できる。
第10回	前回スケッチを基に図面、スタディ模型の作成ができる。
第11回	スケッチを基に図面、スタディ模型の作成ができる。
第12回	グループ内で発表を行い、新たなアイデアを見つけ出すことができる。
第13回	都市施設の骨格(構造)を理解できる。
第14回	作業をまとめ、作品を提出。発表のシナリオを作ることができる。
第15回	模型とプレゼンシートを有効に使い、プランの魅力を伝えることができる。